



宝永小だより

No.12

福井市宝永小学校

令和8年9月9日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

校内運動会に向けて練習開始

スローガン決定！！

勝っても負けても全員主役！～支え合い、認め合い、励まし合い～

9月29日（火）の校内運動会に向けて、色別応援や競技種目等、様々な練習が始まりました。校内運動会では、体育の学習で培った体力および運動技能を総合的に発表し、仲間と競争したり協力したりすることの楽しさや、体を動かすことの素晴らしさ、気持ちよさを実感し、進んで運動に親しもうとする態度を育てることを目的としています。そして、本年度のスローガンでは『勝ち負け関係なく、同じ学年の仲間、にこフレ班（縦割り班）の仲間、同じ色の仲間などと支え合い、認め合い、励まし合いながら、全員が主役になれる校内運動会にしたい』と、子どもたちは目指す校内運動会のあり方を具体的に示しました。

特に本年度は校内運動会に向けて、ポジティブ教育の柱の一つである『ピア・サポート』に全校で取り組んでいくことになりました。9月3日（木）の給食の時間に、企画・生活委員会の代表が全校放送で、次のように語りかけました。

校内運動会に向けて、全校のみんなで取り組みたいことがあります。それは『ピア・サポート』です。『ピア』とは『仲間』という意味で、同じ学年だけでなく、上の学年や下の学年もみんながピアです。『サポート』とは、『支える』や『助ける』という意味があります。つまり、ピア・サポートとは『学年に関係なく、みんなで支え合う』ということです。

例えば、これから始まる校内運動会の練習で『〇〇さん、がんばって』と声をかける」「下級生が困っていたら『どうしたの？』『一緒にがんばろう』などと声をかける」「友達が失敗したときに『大丈夫』『次、がんばろう』と励ます」、これは全部、ピア・サポートです。

そこで、みなさんに一人一つ『ピア・サポの種』を書いてもらいたいと思います。この種には校内運動会に向けて『自分は仲間のために、どんなことをしたいのか。どんなことができるのか。』という目標を書くものです。『学年種目がんばる』だけでなく、先ほど説明したような『ピア・サポート』を意識して考えてみてください。書いてくれた『ピア・サポの種』は、放送室前と横に掲示してある『ピア・サポの木』に貼ってください。

そして、もう一つ大切な活動をしします。校内運動会の練習をしていると、きっと友達に助けてもらったり、声をかけてもらったりすることがあると思います。そのときに『うれしかったな』『がんばれたな』と思ったこと、例えば『〇〇さんが、練習で失敗したときに『がんばって』と声をかけてくれて、うれしかった』など、『ありがとうの花』に書いて『ピア・サポの木』に貼ってもらいたいと思います。

この校内運動会を通して、みんなが仲間を支え、認め、励まし合いながら、みなさんの種で『ピア・サポの木』の花をたくさん咲かせましょう。そして、全員が主役の校内運動会にしましょう。

9月4日（金）には、すべての学年の『ピア・サポの木』にたくさんの種が貼られました。1年生の子どもたちは4月から習ってきたひらがなを使って『がんばっているこに、こえをかける』『6ねんせいのはなしをしっかりきいて、おおきくおどる』『いになっても、2いになっても、3いになっても、みんなをほめてあげる』などと、ピア・サポの目標を種に書き込んでいました。

＜『ピア・サポの種』と『ピア・サポの木』の掲示物＞



また、本年度より徒競走に替わり、学団（低学年、中学年、高学年）種目を取り入れました。低学年（1年生と2年生の混合色別）種目としてボール運び、中学年（3年生と4年生の混合色別）種目としてムカデ競走、高学年（5年生と6年生の混合色別）種目として綱引きを行う予定です。それぞれの学団が集まって各種目の練習を始めており、種目のコツを教え合ったり声をかけ合ったり応援し合ったりするなど、ピア・サポートの行動が学団の中でも広がっています。

さらに、全校応援練習も9月1日(火)から始まっており、各色の6年生が声を張り上げて、自分たちが考えた応援を下級生に教えていました。6年生は下級生の声出しや動きを褒めて認めながら進めていました。そのうち、6年生の一生懸命さが下級生にも伝わり、動きが大きくなってきました。本番が楽しみです。応援合戦では、次の4点が審査されます。①態度:応援合戦中の様子 ②元気:色全体の子どもたちに元気が溢れているか ③チームワーク:振り付けや応援歌など、色全体の子どもたちの動きのそろい具合 ④アイデア:応援合戦の中に表れるアイデアの豊かさや、子どもらしい発想の工夫。どの色も、競技の部の優勝や応援の部の最優秀賞を目指して、6年生の子どもたちが試行錯誤しながら、練習を重ねています。

赤組



【団長】みんなが楽しめて、達成感のある校内運動会にしたいと団長になりました。そのために、困っている子には優しく声をかけたり教えたりしていきたいです。また、周りを見て全員が楽しくがんばれるようにしたいです。どうぞよろしくお願いします。

【副団長】ぼくは、みんなが協力して笑顔で終わることができる校内運動会にしたいです。そのため、困っている人がいたら支えます。分からないことや困ったことがあったら、何でも言ってください。いっしょに最高の校内運動会にしましょう。どうぞよろしくお願いします。

＜応援練習の様子＞

青組



【団長】私は、一人一人が達成感のある校内運動会にしたいです。そのために、本番の応援、競技はもちろん、練習から全力で取り組み、本番には、120%を出せるように準備をしていきたいです。どこよりも団結力のある組にしていきたいです。どうぞよろしくお願いします。

【副団長】みんなが楽しめる青組にしたいと、副団長になりました。そのために、ぼくは困っている人がいたら、いつでも声をかけてやさしく教えていきます。分からないことがあったら、何でも聞いてください。これからがんばっていきましょう。また、勝っても負けても全員主役の校内運動会にしていきたいです。

＜応援練習の様子＞

黄組



【団長】みんなにとって楽しく、思い出になるような校内運動会にするために、団長になりました。ぼくがそのためにがんばることは、みんなよりも声を出し、みんなが声を出しやすいようにしていくことです。また、分かりやすく教えます。みんなで最高の黄組にしましょう。どうぞよろしくお願いします。

【副団長】私が副団長になった理由は、みんなが笑顔で楽しく、そしてがんばってよかったと思える校内運動会にしたいと思ったからです。そのために私は、楽しく練習ができるように、もり上げていきます。みんなで協力して、最高の校内運動会にしましょう。どうぞよろしくお願いします。

校内運動会では、本番までの練習も含めて、精一杯競技したり応援したりする中で、一人一人がにこフレ班(縦割り班)の一員として協力し、互いに思いやる心や信頼する心を育んだり、自分の役割を自覚し、責任をもって行動したりしてほしいと考えています。順位等の結果だけではなく、その過程を大切にしたいと思います。また、5・6年生は、委員会ごとの仕事も担っています。学年に応じて学んで得ることは異なりますが、学校生活がより明るく豊かなものになるような体験の一つになることを願っています。

6年生 ふくいの魅力がお菓子里に大変身!

9月1日(火)

6月19日(金)に引き続き、宝永

地区の老舗『御素麺屋』の社長 ○○○○ 様と和菓子職人の方をお招きしました。今回は、子どもたちが考案した『ふくいの魅力をお菓子里にする』アイデアを、5種類の試作菓子として製造し届けてくださいました。『焼き塩まんじゅう』『とみつ金時さつまいもどら焼き』『塩大福』『塩ガレット』『とみつ金時さつまいもガレット』が家庭科室のテーブルに並べられ、子どもたちは試作菓子とその紹介プレートを見比べながら、試作菓子に詰まったふくいの魅力を確認していきました。以前、子どもたちが実際に見学した志野製塩所の『百笑の塩』とコラボした試作菓子でした。その後、一人一人が5種類の試作菓子を試食し、最も良いと考える試作菓子に票を投じていきました。結果は、『焼き塩まんじゅう』と『とみつ金時さつまいもどら焼き』がほぼ同数となり、検討の末、この2種類の試作菓子をPRしていくことになりました。現在、宝永地区文化祭と福井駅前でのPR活動に向けて、子どもたちはパッケージグループ、動画制作グループ、のぼり旗・たすき製作グループ、チラシ・ポスター製作グループに分かれて、準備を進めているところです。どのようなPR活動に仕上がるのか、楽しみです。



＜5種類の試作菓子を見比べる様子＞

*応援練習の時間が終了すると、6年生の子どもたちは、各色の担当の教諭からアドバイスをもらいます。そして、それを次回の応援練習に生かしています。応援が仕上がっていくことで、6年生の子どもたちは、手応えとやりがいを実感しています。上手いくことも、上手くないこともあると思いますが、仲間と情報共有して、成功に導いていってくれることを願っています。